

オアシス通信



加藤哲・山本幹長老が就任

信徒総会開かれる



加藤哲長老と山本幹長老

奉仕分担、予算についての説明がなされました。小山牧師から「教会活動の目標」について申命記1章7節の御言葉に基づき説明がありました。

退任の上田長老へ 感謝の花束を贈呈



五月二十一日の午後から、白鳥教会、大森チャーチ、大垣インターナショナル・フルゴスパーチャーチ、美濃グレースチャーチ、岐阜ライフチャーチの兄弟も出席し、岐阜純福音教会信徒総会が開かれました。本教会、枝教会からの昨年度の活動報告や会計報告の後、本年度の活動計画や

五月二十一日の礼拝の中で、新しい長老また宗教法理事長として、加藤哲兄の任職式が持たれました。それに先立ち、前任者として六年間奉仕して下さった上田正吉兄への

ミセス・ボルゲ召される



岐阜純福音教会を夫の故ボルゲ師とともに開拓されたアストリ・ボルゲ夫人が六月一日、米国シアトルで天に召されました。岐阜を深く愛し、教会の母として私たちのために祈り続けた生涯でした。

感謝の花束が贈呈されました。また、山本幹兄の長老任職

宣教フェスタ

感動と励まし

式が一週間遅れて二十八日の礼拝の中で持たれました。



五月四日のリーガロイヤルホテル大阪での歓迎晩餐会に始まり、五日―七日の大阪府立国際会議場での大会を、皆様のお祈りと献金に支えられて大きな祝福のうちに終えることができました。三日間で四千人くらいの方々が参加して下さいました。当教会と枝教会から合わせて三十名くらいの参加者がありました。日本宣教フェスタへのご協力ありがとうございました。

メイン会場では、五日の子どもたちによるミュージカルに始まり、感動的な会衆賛美、聖歌隊による圧巻の賛美、楽器演奏、特別賛美、チャレンジに満ちたメッセージが三日間にわたって取り次がれ、セミナー会場ではユニークな講師陣による多種にわたるセミナーが開催されました。

プロテスタント五百年という記念すべきこの年に、「全世界が一つとなつて日本宣教を推進するつどい」として日本宣教フェスタをNRAと関西の宣教協力会との共催で開催することができ、感無量です。大会長としての責任を果たすことができてほつとしています。

もっぱら執り成しの祈りに専念して下さるチームがあり、ユースの集会、子どもたちの集会も同時並行で行われました。全体に喜びと笑いと感動と一致の霊が流れているのを感じ、大きな励ましを受けました。(牧師)